

〈解答〉

- ① (1) X：太平洋 Y：ユーラシア
(2) エ
(3) ウ
(4) 東京：ウ クスコ：イ

配点 ①(1)は各1点, 他は各2点 10点満点

〈解説〉

- ① (1) 海洋には、太平洋、大西洋、インド洋の三つの大洋とそのほかの海がある。また、陸地には、ユーラシア大陸、アフリカ大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、オーストラリア大陸、南極大陸の六つの大陸と数多くの島々がある。大洋の中で最も広いのは太平洋で、五つの大陸に囲まれている。大陸の中で最も広いのはユーラシア大陸で、三つの大洋に面している。
- (2) ある地点を、地球の中心を通過して反対側に移した地点を対せき点という。東京の対せき点は、アルゼンチンの首都ブエノスアイレスの西方沖の大西洋上になる。
- (3) 地球は、1日(24時間)で1回自転(360度回転)する。したがって、1回転で24時間の時差を生じるので、 $360\text{度} \div 24\text{時間} = 15\text{度}$ となり、経度15度ごとに、1時間の時差が生じることになる。日本は、兵庫県明石市などを通る東経135度を標準時子午線としている。ロンドンには、郊外の旧グリニッジ天文台を通る経度0度の経線〔本初子午線〕を標準時子午線としている。日本とロンドンの経度差は135度で、 $135\text{度} \div 15\text{度} = 9\text{時間}$ の時差が生じる。日本の標準時は、ロンドンより9時間進んでいるので、日本が8月15日午前10時のとき、ロンドンは8月15日午前1時となる。
- (4) 東京は温帯の中でも、年間の降水量が多く、降水量や気温の、一年の中での変化が大きい、温帯〔温暖〕湿潤気候に属する。クスコはアンデス山脈中央部にあるペルーの高山都市である。高山地域では、同じ緯度の標高が低い地域よりも気温が低くなる。このような高山地域に見られる気候を高山気候という。また、赤道に近い地域は、一年の気温の変化があまり見られないという特色がある。アはイルクーツクで、冷帯〔亜寒帯〕に属し、冬はかなり気温が低くなるが、夏は気温が高くなり、一年の気温の差が大きい。エはトンブクトゥで、乾燥帯の砂漠気候に属し、一年を通して雨がとても少ない。